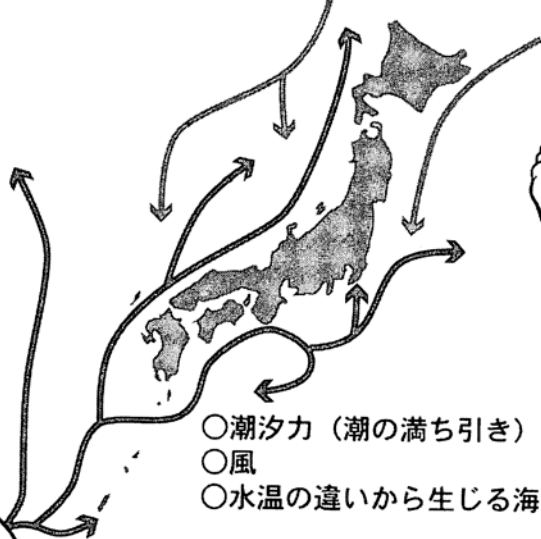


で、では、
ぼくから……

僕は温水器からヒントを得ました。
太陽からのエネルギーで海や川、
池が温められることから、実感で
きることを探してみました。

調べてみると台風が発生が
まさにそうでした。
熱帯地方などの地域では、
太陽熱により海水の温度が
非常に高くなります。
湿った空気が上昇し、積乱
雲や積雲ができ、熱帯低気
圧が発生します。そこに高
温多湿の空気が流れ込む。
この繰り返しにより台風は
発生、発達します。



ほかにも海水が温められることに対する
効果をインターネット検索で探してい
たら、海流がありました。ただ、海水が温
められることによる影響は海水に密度差
ができるという事で、主なところは潮の
満ち引きのもととなる潮汐力や風による
効果のほうが強いそうです。

すまんな、純君は居酒屋
メニューでしか、魚をし
らんのだ。



今ごろなら玄海灘の
ブリカマかしら？



あら、そんなのあたり
まえじゃない。何を
はにかんでんのよ。

お、お魚かな……？
海流に乗ってやってきますし。

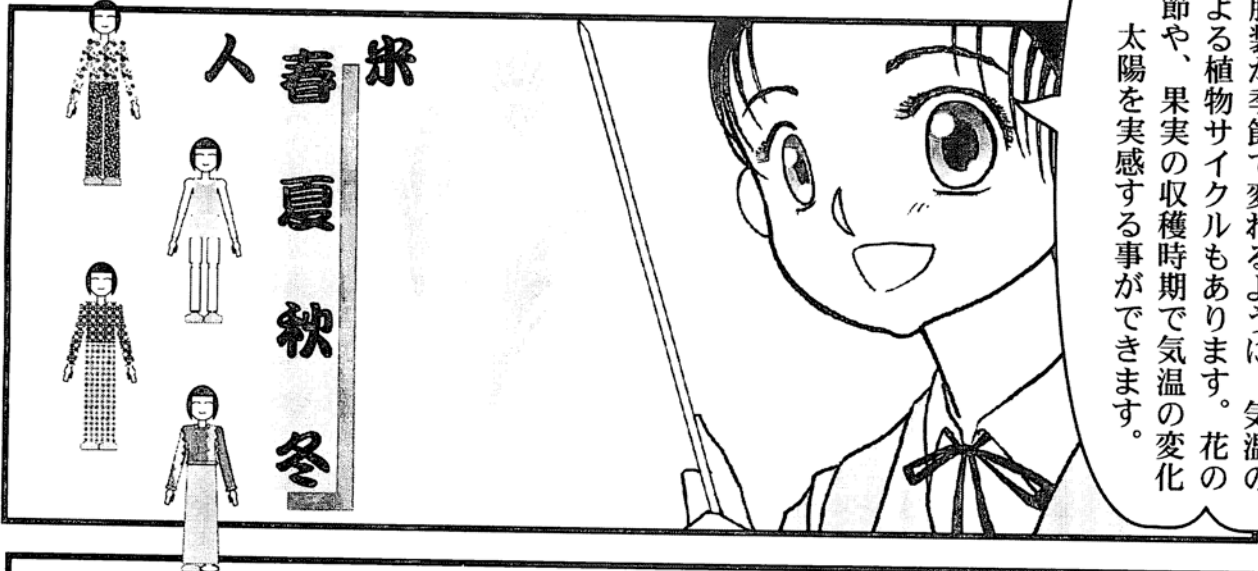


で、海流は何で実感できるんや？

あらすじ

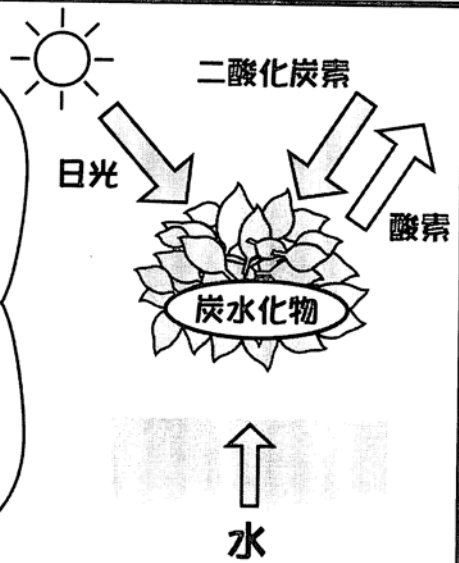
身のまわりで太陽の実感できるものを探し始めたさくらとけんた。家に帰ってもいろいろ調べるが、果たして見つかったのか？

私は植物に注目しました。
人間の服装が季節で変わるように、気温の変化による植物サイクルもあります。花の咲く季節や、果実の収穫時期で気温の変化を知り、太陽を実感する事ができます。



それからびっくりしたのが...
植物が地球上のほとんどの炭水化物を作り出している事です。

気温の変化だけでなく、植物は光合成を行っています。太陽エネルギーを用いて二酸化炭素と水を、酸素と炭水化物に作り変えています。植物の存在が太陽を実感できる事と言えます。



あと、おまけみたいなものですけど、影かな。
太陽の高さや方角などが実感できました。

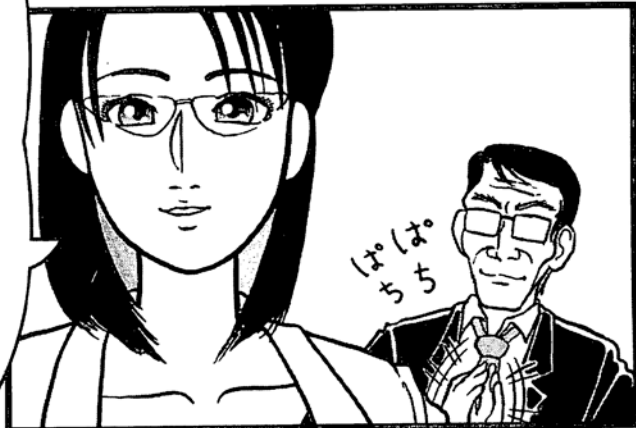


冷静に考えたら、動物たちは植物から炭水化物を得ているわけだから、人間も結局は間接的にはいえ、太陽エネルギーを食べているようなものなんです。

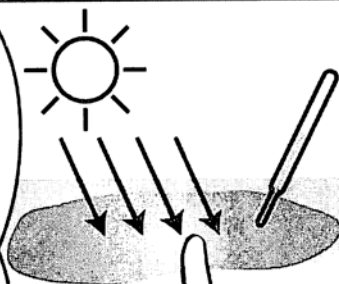


僕は太陽のエネルギーが大きいと言うのは頭でわかってはいるんですが、地球上での温度ムラで台風のような大きなエネルギーを持つたものが起こるほどだとはまじめに考えてませんでした。

なかなか、よかったわよ。二人は今回調べた事でどんな感想を持った？



せっかくだから今度は太陽のエネルギーがどれくらいかを計算してみたら？身のまわりの現象から。



台風の発生から太陽のエネルギーを見積もることは複雑で大変だけど、水溜りの水温変化からその間に与えられた太陽のエネルギーを求めるのはそう難しくないわ。

身のまわりの些細な事でも調べていくと太陽につながっているものってすごく多そうだったおもいました。

私たち、今回はこれくらいしか見つけられなかったけど、

身のまわりで気づいたものからよくがんばって調べたな。でもな、発想をかえてみ。身のまわりで太陽につながってないものは何かあるか？

人間は太陽からの恩恵に対して鈍くなりすぎているんやろうなあ。他の陸上動物や植物は太陽の動きに沿った生命活動を行っている。

あ……

さっき太陽の影のことをおまけといっとったが、



動物たちにしてみると深刻なことだな。昼行性の動物や鳥などにとって太陽の動きは命にかかわる重大な関心事となんや。

今度は逆に太陽の影響から遠
いているものを探してみるのも
おもしろいかも知れんな。



もちろん、炭水化物は植物で
作られるんやから、太陽と関わ
りのない生き物は存在しない
わけやが、あんたら、太陽と
の関わりが少ない生き物で思い
つくものあるか？

魚かなあ。それも深海魚。
目が退化しているんだから
太陽の光が届いていない環
境にいるって事だよな



そういう意味では地中の
モグラとか、ミミズも？



やっぱり、天文学者とちがうか？肉食動物でも
なく、目も退化したらんけど、夜活動して昼は
暗幕張つても寝とるからなあ・・・
けつたいな生き物やで。しっしっし

